

# 新年のごあいさつ

美波町長 影 治 信 良



新年明けましておめでとございます。町民の皆様には、お健やかに初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は町行政に対し温かい、しかも深いご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は、「イギリスEU離脱国民投票」「アメリカ大統領選挙」「韓国大統領の弾劾訴追」など、世界が大きく変革する兆しが現れた年でありました。

一方、国内では「熊本地震の発生」「台風統計史上初の東北上陸」「鳥取県中部地震の発生」「新潟県糸魚川市の大規模火災」など自然災害に見舞われた年でもありました。

そのような中、本町では合併十周年を迎え、町民の皆様とともに祝いすることができましたことはこの上ない喜びに感じています。この十年間で合併時の重要プロジェクト事業でありました「防災関係事業（防災無線の統合・デジタル化など）」や「地域医療・地域福祉の強化事業（病院問題など）」につきまして、完成あるいはその方向性を示すことが出来ました。

また、合併後の新たな課題である南海トラフ巨大地震・津波への備えにつきましても、自主防災会の皆様の積極的な取り組みと、国・県のご支援により着実に進んでいると感じています。昨年八月には、県下の他市町村に先がけて、強靱な美波町をつくりあげていくための指針として「美波町国土強靱化地域計画」を策定いたしましたし、今春には阿部地区のヘリポートや赤松地区の防災拠点施設も完成いたします。引き続き安全安心なまちづくりに向けて、防災・減災の取り組みを強化してまいります。

また昨年は「地方創生実質元年」の年でありました。四月には地方創生徳島県版特区に「歴史・文化の力でまちづくり事業」の二つのプロジェクト（門前町の再生プロジェクト・人形浄瑠璃赤松座一〇〇年ぶりの復活プロジェクト）が指定されたことや、九月には山本幸三地方創生担当大臣がご来町されるなど、美波町創生に弾みがついた一年でもありました。

さらに十月には、二〇二一年にアジアで始めて日本（関西圏）で開催される「ワールドマスターズゲームズ」の三十競技五十五種目の内六種目が徳島県で開催されること

組織委員会で決定され、その内の二種目（トライアスロン・アクアスロン）が本町で開催されることになりました。「ワールドマスターズゲームズ」は、四年に一度開催される概ね三十歳以上の一般の成人・中高年のための国際総合競技大会で国際マスターズゲームズ協会が主催し生涯スポーツ大会の世界最高峰と言われています。

本町では、この「ワールドマスターズゲームズ」を美波町を全世界に発信できるまたとない機会とするともに、本町への外国人訪問客を増やすことにより地域の活性化を図りたいと考えているところであります。

さて、今夏には「美波町医療保健センター」が完成いたします。このことにより、昨年開院した美波病院並びに阿部診療所と合わせて美波町の医療提供体制が出来上がり、町民の皆様が安心して医療・保健・福祉・介護サービス等を一体的に受けられる地域包括ケアシステムが構築されることとなります。昨年十二月の徳島県と県南四町が連携して新たな医療提供体制を構築する「海部・那賀モデル推進協定」の締結とも相まって、良質な医療の提供は勿論、訪問診療など地域に根ざした医療・保健・福祉・介護サービスの向上につながるものと期待をしているところであります。

また、本年は「大浜海岸のウミガメおよびその産卵地」が、昭和四十二年八月十六日に国の天然記念物に指定されて五十年を迎えます。長い歴史を持つウミガメの保護活動や環境問題をテーマに美波町を全国に発信してまいりたいと考えています。

日本全体が人口減少時代に突入し自治体の消滅さえ危惧される今日、合併特例の終了を数年後に控える本町にとりまして、今まさに未来に向かって大切な時期に直面しております。

本年も世界情勢や国・県の動向を注視しながら、引き続き「任んでよかったと実感できるまちづくり」の実現に向け職員共々努力してまいりますので、本年もどうか温かいご理解とお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年の皆様にとりまして幸多い年となりますことを心からご祈念申し上げます、新春のご挨拶といたします。